

インフォメーション

◆ 新着図書

「ミセスのためのハッピー・リワーク完全バイブル」
土岐優美著（秀和システム出版）



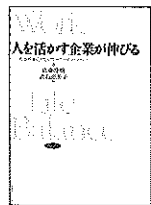
結婚や出産でやむなく仕事を辞め、専業主婦から目的を持って再出発をしようと考えている方へ具体的にアドバイス。一歩踏み出すための一冊です。

「勝間和代のインディペンデントな生き方実践ガイド」 勝間和代著（デイズアートインク出版）



この本のキーワードは「インディ」。自分の生活と仕事のバランスをとりながら、しかもどこでも自由に生きていける女を「インディ」と名付けています。その「インディ」になるための方法・努力の仕方・スキルがわかりやすく提示されています。

「人を活かす企業が伸びる」
人事戦略としてのワーク・ライフ・バランス
佐藤博樹・武石恵美子著（顕草書房）



企業からみたワーク・ライフ・バランスの意義とは何か、従業員へのモチベーションへの影響や制度を導入している企業の例を基に検証しています。

図書の貸し出しができます

ステップならしの図書コーナーでは男女共同参画や市民活動に関する図書や資料が閲覧できます。図書は一人5冊、2週間貸し出しできます。どうぞご利用ください。

女性の生き方相談

—ひとりで悩んでいませんか—
女性の専門相談員があなたと一緒に考えます

自分自身の生き方、職場の人間関係、男女のこと、夫婦のこと、家族のこと、DVのこと

無料 予約制随時受付 秘密厳守

相談日（毎月第1・3金曜日/第2・4火曜日）予定

7月	3日・14日・17日・28日
8月	7日・11日・21日・25日
9月	4日・8日・11日・18日

相談時間 午前10時～正午・午後1時～4時
受付電話 (453)9307 (8時30分～17時)

お父さん応援プログラム
& お母さんのクラフト講座
＜ステップならしの・こどもセンター共催＞

講師：NPO法人新座子育てネットワーク・
レクリエーションインストラクター
小阪千津子さん

平成21年3月にこどもセンターで子育て応援セミナーが開催されました。

お父さんは子育てへの関わりについて考え、お母さんは手づくりおもちゃでリフレッシュしてもらうセミナー。

お父さん応援プログラムでは積み木を使い、グループで家庭と職場の塔を作成。楽しみながら、ワーク・ライフ・バランスを学びました。



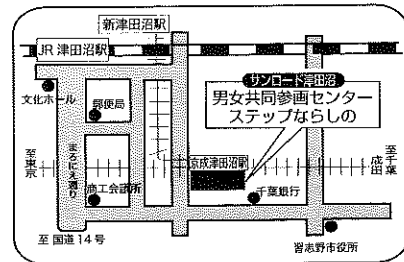
◆ みなさまのご意見・ご感想をお待ちしております。

習志野市男女共同参画センター

ステップならしの

〒275-0016 習志野市津田沼5-12-12
サンロード津田沼 5階
Tel: 047(453)9307
Fax: 047(453)9327

開館時間：平日 9時～21時・土曜 9時～17時（研修室の申し込みは17時まで）



＜編集後記＞

「きらきら」は、公募による編集委員が企画、編集しています。

*働きやすい職場の環境づくりに真剣に取り組んでいることが理解できました。こんな職場が増えるといいですね（英）

*取材を通して仕事をしながらスキルアップし人間的にも成長されていくたくましい女性の方々から勇気をもらいました。（尾）

次回発行は2009年11月の予定です

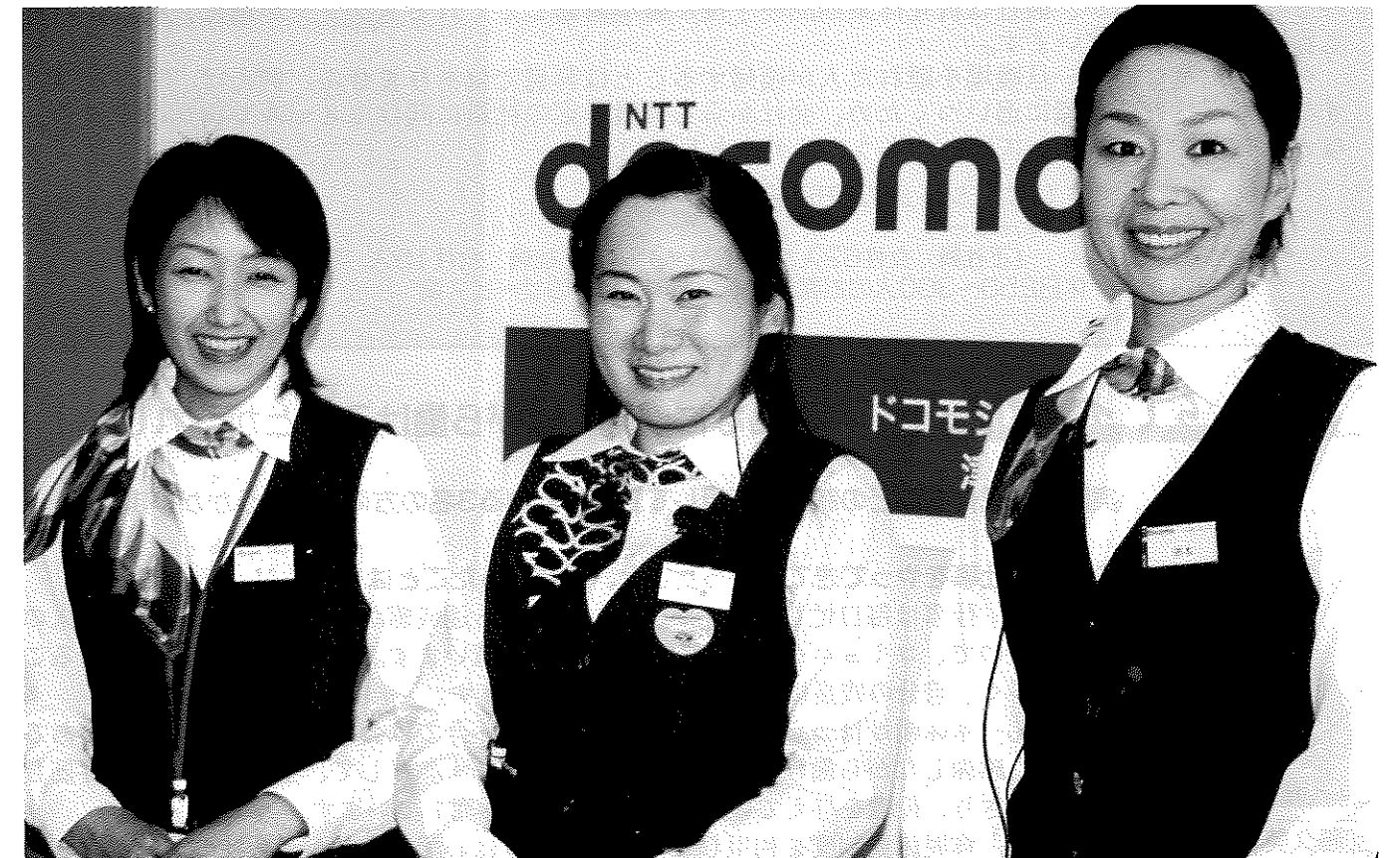


個性を生かしつつ、あらゆる分野に参画できる社会をめざして

特集 女性が安心して働きつづけられる環境づくり

平成20年版男女共同参画白書（内閣府）では、女性の就労が増加する中、男女ともに働きやすい職場環境づくりが求められているにもかかわらず、女性の就労継続や再就職は依然として厳しい状況となっています。例えば、初めての子を出産する人の世帯の出産前後の女性の就業状況を見ると、女性は出産を機に約7割が仕事を辞めており、仕事が育児かを選択しなければならない状況が続いています。

そのような中、市内には女性が安心して働ける環境づくりへの取り組みを行なっている企業があります。今回は、千葉県男女共同参画推進事業所表彰の奨励賞を受賞した市内の企業をご紹介します。



笑顔いっぱいでお客様をお迎えしている社員のみなさん

第15号

2009. 7

女性が安心して働きつづけられる環境づくり

千葉県男女共同参画推進事業所表彰 奨励賞 (株)レカムサービス (ドコモショップ津田沼店)

市内では初の受賞であり、また、働きやすい職場づくりに積極的に取り組んできたことが高く評価されました。具体的な取り組みは、能力ある社員の管理職登用や出産退職者の再雇用、契約社員の正社員化など、男女区別なく社員の能力活用を図っています。また、産休や育児休業の取得も実績があり、平成20年度には育児短時間勤務制度を整備しました。

※千葉県が、男女が共同して参画することのできる環境づくりに積極的に貢献している事業所に対し表彰する制度で、平成18年度より実施しています。平成20年度は、(株)レカムサービス (ドコモショップ津田沼店) と (財) 成田国際空港振興協会が「奨励賞」を受賞しました。

受賞にあたって 経営企画部長 成嶋光雄さん

会社の設立当時 (平成6年) から働きやすい職場を第一に、男女が共同してできる職場づくりに取り組んできましたが、他企業と比べて特別なことをやってきた訳ではありません。

当社は女性社員が7割強を占めており、スタッフの中には既に子どものいる人やこれから結婚して出産する人もいるため、スキルのある人の職場復帰をなんとかしたいということから、職場復帰制度などを一つずつ取り組んできました。その成果が今回の受賞に繋がり非常に嬉しく思っています。

会社としては、社員に対して「制度があるので利用してください」というスタンスではなく、「この制度をどうやって利用するか」ということをスタッフと一緒に考え話し合いながら実施してきました。以前は結婚や出産を機に退職していく女性社員が多く、勤続年数も平均3~5年位だったのが、最近では育児休業期間終了後に職場復帰してくれるスタッフが増え、勤続年数も徐々に伸びてきています。

一方、出産などで一旦職場を離れた人が復帰することは容易ではありません。例えば、日々進歩する携帯電話の新知識に追いつくため、会社からも復職予定の社員に向けてメールで新知識を送るなど、職場復帰がスムーズにいくようにサポートしています。

(株)レカムサービス (ドコモショップ津田沼店)

所在地: 市内谷津7-8-1

従業員: 104人 (正社員 女性62人 男性21人) (非正社員 女性15人 男性5人)

平日200人、休日250~300人のお客様が来店。年中無休のサービス業



「きらきら」インタビュー みんなに感謝しながら働けることがうれしい!

実際に育児休業などの制度を利用して勤務している3名の方にお話をうかがいました。



加藤久美子さん
H12年入社 副店長窓口接客業務 30歳代 育児休業利用有 子3歳 現在2人目妊娠中

Q. 今の仕事をやってきて良かったこと、大変だったことは

加藤さん 仕事は毎日忙しいですが、忙しい中にも達成感があります。また、人対人の仕事なので、コミュニケーションに非常に気を遣います。これは自分のためになることが多く、自分の成長につながっていると思います。

濱本さん 産休明けはつらい時期もありましたが、今では会社や周りの方の理解があるので、感謝しながら働けるということが嬉しいです。そして、子育て中なのに評価していただき、役割を与えていただいたことにも感謝しています。

木村さん 育児休業制度を利用して復帰するときは心配でしたが、会社の理解が大きく嬉しかったです。また、こうした制度の実績は先輩が道を切り拓いてくれました。現在は子育て中なので、勤務時間の短縮制度を利用しています。どうしても他のスタッフに迷惑をかけることになるので、やはりつらい気持ちになります。

Q. 仕事をしていて心がけていることや工夫していることは

加藤さん 子どもが熱を出したりすると仕事を休むことになって、周りのスタッフに迷惑をかけることになります。子どもの体調管理 (うがいや食生活) に気を遣っています。

職場では、どんなときにも笑顔を忘れずにしてきました。また、職場にいるときには何が出来るかを常に考えていることと、感謝の気持ちを忘れないように働くことに心がけています。

濱本さん 子育ても大切ですが、仕事と両立できるのは、周りの理解があるからだと思いますので、自分が職場にいる間はフルに、人の2~3倍は働こうと心がけています。

木村さん 仕事と家庭のスイッチの切り替えを大事にしています。職場に来たら仕事のことを考え、家庭に帰ったら子育てに専念するように心がけています。



濱本美佐さん
H13年入社 サブチーフ 窓口接客業務30歳代 育児休業利用有 勤務時間30分ずらして 出退勤で勤務 子3歳

Q. 今後の夢・希望・目標は

加藤さん シャべれない赤ちゃんを相手に子育てをしたことが大きな力になりました。

お客様の声にならない声をどうやって理解するのかということに役立っていると思います。

濱本さん 私は他社で働いた経験がありますが、この経験を今の会社に生かせるものは話していきたいです。接客に関してはまだまだ勉強中ですが、こんなに楽しいとは予想していませんでした。もっと努力していきたいです。

木村さん まずは、お手本として素晴らしい先輩方がいらっしゃるの、一歩でも近づけるように頑張りたいです。ひとりひとりのやっただけの成果をみられる会社なので、仕事をしながらスキルアップして社会貢献していけたらなと思います。



いらっしゃいませ

Q. 管理職になられたときの感想は

加藤さん 子どもを産む前から副店長をしていましたが、出産後復帰してからは、子どもの風邪などで休んだりすることも多くなり、みんなに迷惑をかけるということから、「これでいいのか?」と、部下を引っ張っていくという立場に躊躇(ちゅうちょ)したことがありました。

みんなに迷惑をかけている分、今まで以上に自然と仕事に全力を入れるようになりました。

濱本さん 子どもがいるので、上に立つことは望めないと考えていたのに「サブチーフ」という役職をもらったので、仕事においては全力でやりたいと思いました。また、「サブチーフ」になれて良かったと思いますし、新たな目標ができました。



木村亜紀子さん
H17年入社 窓口接客業務 20歳代 育児休業利用有 時間短縮制度利用中 子1歳

Q. 働く方々へのアドバイスがあったらひとこと

加藤さん これから育児休業を取られる皆さんへ、子育てと仕事との両立では (特に復帰後は) 体力勝負です。

濱本さん 子どもがいて働きたいと思っている方は、まずは「会社に相談してみる」という第一歩を、勇気を持って踏み出してください。

木村さん 「感謝する気持ち」を忘れずにいてほしい。また仕事に対する姿勢は一生懸命であることです。そうすれば周りも会社も認めてくれると思います。



明るい笑顔で接客するスタッフ

本日はお忙しい中ありがとうございました。皆さんの日々努力されている様子が伝わってきました。